

監査結果報告書

2018年6月6日

社会福祉法人保健福祉の会 殿

監事 北田 喜美代 ⑩

監事 佐藤 晃敏 ⑩

私たち監事は、社会福祉法第40条および関連法に基づき2017年度（2017年4月1日から2018年3月31日）の監査を以下のとおり実施しましたので報告します。

監査日時 2018年5月30日（水）9時00分～15時30分

監査場所 都和のはな3階会議室

立会人 上田法人理事長、川原法人常務理事、田村法人事務局員、松山西の京事務員（介護経理）、坪田老健西の京事務長、川原特養都和のはな施設長、猪熊グループホーム都和のはな管理者、和久田虹の家管理者、京藤青い空保育園園長、阿加井洛西保育園園長、竹内白い鳩保育園園長、出路あらぐさ保育園園長、田村児童支援パーチェ管理者

監査結果

社会福祉法人保健福祉の会の2017年度財務諸表及び総勘定元帳、会計伝票、証拠書類の点検照合を行いました。違算なく合致しており適正に処理されていることを認めます。

2017年度は、介護事業の安定的な運営、新体制での保育園運営、制度にない福祉サービスの展開、幹部職員の配置と育成、職員の雇用と育成と労働条件の整備を等重点とし事業を展開してきました。

事業活動のサービス活動収益は15億308万円、前年比で5,327万円（前年比103.6%）の増収となっており、全ての事業で増収となっています。

当期活動増減差額は、保育事業・児童支援事業で黒字、介護事業で赤字となり、法人合計で8,793万円となっています。資金収支差額合計は、3,599万円の黒字となっています。介護事業では赤字となっていますが法人全体では予算を達成となっており評価できます。固定資産取得支出は2,675万円であり、事業活動資金収支差額11,702万円に対応しており、新たな借入金はなく、長期借入金も予定どおり返済しており財政的にも安定しています。

法人運営では、理事会出席率は96.8%、評議員会は100%の出席となっています。2016年度「きょうと福祉人材育成認証」2017年度「京都モデルワークライフバランス認証」を取得し人材確保と育成のとりくみを充実させてきました。各分野で介護事業部会議、保育部会議、児童支援事業管理者会議などを開催し、事業分野ごとの運営の向上もはかれており適切に運営がなされていると評価します。

全ての事業所の管理者より報告を受け、ヒアリングをおこないました。評価できる点や課題について事業ごとに報告します。

介護事業は、当期活動収支差額で▲353万円の赤字で、虹の家を除く3事業所で赤字となっています。引き続き経営改善の課題があります。心理的虐待を受けて、風通しの良い組織づくりや業務見直し、学習の実施などとりくみについて確認できました。西の京の組織と人事配置問題は、すすんでいます。一方で特養都和のはなの管理者が川原法人常務理事の兼務となっており解消が求められます。

保育事業は、当期活動収支差額で6,748万円の黒字となっています。保育委託費単価の増が大きく影響しています。従来のか園による給食の交流に加えて、クレーム・安全・教育育成・社保の委員会を立ち上げています。今後とも一層交流が深まることを期待します。青い空保育園での第三者評価受審の経験を他園に普及していくことも必要です。また、積立金についても今後の大型改修に備えて必要額を見積もり計画していく視点も必要だと思われます。白い鳩保育園では、非常勤給与が予算を大きく超過しており産休対応によ

る増加の側面もありますが人件費管理上の課題があります。

児童支援事業は、当期活動収支差額で 1,804 万円黒字となっています。児童相談支援も計画相談 318 件、モニターリング 226 件となっており今後の体制も含めた検討が必要になっていると思われます。

いくつか指摘させていただきましたが、監査において法人・事業所運営や経営結果の評価に影響を与える問題はありませんでした。

以上